

かんどちくのうちとみずとかんきょうをまもるかい

いずもし

神門地区農地と水と環境を守る会（島根県出雲市）

- 本組織は、平成19年度より本交付金の前身である農地・水・環境向上対策による取組を実施している。
- 地域内の保育園、幼稚園、小学1年生、中学3年生と連携し、毎回、約300名の子供達とヒマワリの植栽を実施している。ヒマワリの植栽は、景観を損ねていた農地の解消の一つとして本会の役員が発案し、園と学校に出向き、協力を求めて始まった。現在では、園や学校から植栽への参加の申し出があるようになった。
- 中学生が園児の手をとって植栽地に移動するなど、年上の子が年下の子を気遣うことの大切さや様々な年代が共同で作業する楽しさを感じられる時間になっている。また、開花時期の風景は、地域住民のいやしとなっている。

【地区概要】※R4年度時点

- ・認定農用地面積174.65ha（田148.21ha、畑26.44ha）
- ・資源量 水路53.3km 農道90.3km
- ・主な構成員 66町内会、慶人会、花桃の会
- ・交付金 約14百万円（R4）

農地維持
支払

資源向上
支払
(共同)

資源向上
支払
(長寿命化)

活動開始前の状況や課題

- 本地域は、新興住宅が計画的に建設され、農地の減少が進む一方で、新規の住民の増加により、農地の保全の意識が低下しつつあった。
- 農地の保全、景観の保全に特化した本交付金による取組を開始。
- 農地の減少に加え、営農しない農地の増加により、営農している農地への悪影響、景観が損なわれている状況。
- 営農しない農地の活用方法を検討し、ヒマワリ、花桃、ソバの植栽に取り組むこととした。

取組内容



- 平成19年度より、ヒマワリ、ソバの植栽を実施。平成28年度より、花桃の植栽を開始。



- ヒマワリの植栽については、地域内の保育園、幼稚園、小学校、中学校とそれぞれに、植栽の協力依頼等を実施。



- 2ヶ月に1回、各町内等に配布している「活動通信」にて植栽の様子や開花時期などの情報を発信。



中学生が園児をエスコートして移動し、植栽活動

取組の効果

- 管理されない農地が減少。（約80a）
- ヒマワリの開花時には、子どもたちが植栽したヒマワリとして、家族の方や地域の方のいよしの場となっている。
- ソバの開花時は、新しく移住された方も花見に訪れ、景観を通し本地域や農業・農村について関心を持つきっかけとなっている。
- 「活動通信」は、他町内が実施した活動も掲載していることから、横のつながりへの情報提供にもなっている。



ヒマワリやソバの花見は地域の楽しみとなっている



地域担い手の世代交代の推進

平地農業地域



キーワード

農村の地域コミュニティの維持・強化へ

・活用
ノウハウの蓄積

若者女性などの多様な参画

いなもちいきしげんほぜんたい おおだし
稲用地域資源保全隊（島根県大田市）

- 本組織は、平成19年度より本交付金の前身である農地・水環境保全向上対策による取組を実施している。
- 地域内にある農事組合法人など、中心メンバーの平均年齢が70歳半ばであり、世代交代が課題となっている。このことから、平成25年頃に設立された若者会のメンバーから保全隊の役員に就いてもらい、保全隊の役員会や活動を世代間交流の場として、3、4年掛けて地域をより把握し、現在の各団体の世代交代をする準備期間と考えている。

【地区概要】※R4年度時点

- ・認定農用地面積42.52ha（田40.21ha、畑2.31ha）
- ・資源量 水路10.0km
農道4.2km
- ・主な構成員 自治会、若者会、農事組合法人等
- ・交付金 約3.5百万円（R4）

農地維持
支払

資源向上
支払
（共同）

資源向上
支払
（長寿命化）

活動開始前の状況や課題

- 本地域は、三世代が多い100世帯が暮らしている。
- 稲作を中心とした営農を営んでいる。その中心は農事組合法人が担っているが、組合員の平均年齢は70歳代半ばである。
- 地域には3自治会があり、昭和55年頃にそれぞれに若者会が設立されたが、現在はその会での活動はない。
- 農事組合法人、若者会の他、水利組合、土地改良区があるが、それぞれのメンバーが設立当初から変わっていない。

取組内容



- 平成25年頃、3自治会全体の若者会「I～NEえ～会」（い～ねえ～会）が設立され、地域の祭りの出し物など、地域の行事に自治会と協力して活動を行っている。



- 地域の行事に積極的に参加している若者会のメンバーが今後の地域の担い手となることから、保全隊の活動を通して、地域をより理解できると考え、若者会のメンバーから、保全隊の副代表、運営委員として役員に就任してもらった。



- 地域に女性の会がなく、女性の参加を促す術が限られていたことから、保全隊の役職にオブザーバーを設け、2名の女性に就任してもらった。

取組の効果

- 若者のアイディアを実現できるように、本交付金の予算を確保するなど、年配者からの理解を得ている。
- オブザーバーの2名は、70歳代であるが、地域をよく把握しており、日頃より、地域の女性方との繋がりもあることから、活動への参加の呼びかけに期待している。
- 地域を担う若者世代にとって、現世代の方からいろいろと教わり、地域をより理解した後に世代交代することが望ましく、保全隊の活動がよい機会きっかけとなっている。



若者会メンバーの運営委員、オブザーバーを含めた役員会



まさかねそしき

かがぐんきびちゅうおうちょう

正金組織 (岡山県加賀郡吉備中央町)

- 本組織は平成19年から農地・水・環境保全向上対策に取り組み、平成26年より多面的機能支払交付金に引き継いで「協力は強力」を合言葉に活動している。
- 周辺の小規模集落が多面的機能支払交付金事業の取り組みに躊躇していたことから、当組織に巻き込むことで、幅広い農用地の保全管理に取り組んでいる。
- 女性役員の起用や若者の会を発足し、組織体制の強化、健全な世代交代を目指している。

【地区概要】※R4年度時点

- ・認定農用地面積31ha
(田24ha、畑7ha)
- ・資源量 水路3km
農道7km
- ・主な構成員 農業者、自治会、
若者の会
- ・交付金 約2.3百万円(R4)

農地維持
支払

資源向上
支払
(共同)

資源向上
支払
(長寿命化)

活動開始前の状況や課題

- 本地域は、担い手も減少し、周辺にある小規模な集落が点在していることから、農道の管理、農地の維持等の負担が大きくなっている。
- また、高齢化が進み、世代交代が課題であった。



パソコンが使えない高齢者にとって
事務は大きな負担

取組内容



- 役員に女性を起用 2名
40歳代の若い女性を起用
- 若者の会を発足 25名
地元神社のお祭り(お御輿の復活)を契機に結成。
多面的活動にも参加を要請。不作付地等の草刈りなどを依頼した。
- 構成員の拡充
非農家等への声掛け



多面的機能支払交付金の広報看板

取組の効果

- 共同活動の参加者について、非農家の割合が増加した。
- 女性役員の起用により、女性の意見が反映されやすくなった。このことによる若い世代の女性参加の増加が期待される。
- 若者の会の発足により、組織体制が強化されるとともに、今後、スムーズな世代交代に繋がる。(組織平均年齢71歳→61歳)



参加者が大勢いるだけで活気が溢れる



あがたぬしちいきしげんほぜんきょうぎかい

いばらし

県主地域資源保全協議会（岡山県井原市）

- 県主地域資源保全協議会は、農業者の減少と高齢化が進む中で地域環境がより良く保全されるとともに永続的に維持管理することを出発点として発足した。
- 本地域は、温暖な気候と水資源に恵まれ、ヒノヒカリ等の良質な米を生産している。
- 活動開始以前は、草刈り・水路の泥上げ等の実施・未実施が地区によりばらばらであったが、本交付金参加後は、各地区間での話し合いを行い、地域で一体的な活動を行うようになったことで、全ての地区で農地や水路の保全が図られることとなった。
- 交付金を活用し、40年以上経過し老朽化した南部地区の農業用水路の更新を計画的に実施することで、必要用水量の確保を行い、持続的な営農が可能となった。

【地区概要】※R4年度時点

- ・認定農用地面積54.5ha
（田53.6ha、畑0.9ha）
- ・資源量 開水路17.4km、農道7.2km
ため池13箇所
- ・主な構成員 農業者、自治会、
消防団等
- ・交付金 約4.4百万円（R4）

農地維持
支払

資源向上
支払
（共同）

資源向上
支払
（長寿命化）

活動開始前の状況や課題

- 水路の老朽化により用水路から漏水があり、用水量の確保に不安があった。
- 今後、用水量不足を引き起こす恐れがあった。



老朽化した水路

取組内容

- 本交付金を用いて用水路の計画的な改修を行っている。



既設水路撤去作業



水路の据付作業

取組の効果

- 水路本体の更新により、本地区での用水確保が出来たことにより、今後も持続的な営農活動が可能となった。
- 漏水を防ぐことで、地区での用水の確保が可能となり、大型機械による田植面積が増大し、労力の省力化に役立った。



水路本体の更新 約150m
（R4年度実績）



【地区概要】※R4年度時点

- ・認定農用地面積44ha
(田44ha)
- ・資源量 水路10km、農道10km
ため池3箇所
- ・主な構成員 農業者、自治会、
女性会、子供会等
- ・交付金 約3百万円(R4)

農地維持
支払

資源向上
支払
(共同)

資源向上
支払
(長寿命化)

あらうちにしちくかつどうそしき なぎちょう
荒内西地区活動組織（岡山県奈義町）

- 本地域は、那岐山麓の山麓に広がる奈義町の中央よりやや南に位置し、名義川、滝川の恵みをうけ水田地帯が広がっている。
- 共同活動では、景観形成・生活環境保全に関する活動を行っており、住民全体を対象とした地域密着型で取組を行っている。
- これにより、自分たちが住んでいる地域の景観形成・生活環境保全に関心を深めてもらう機会となり、活動組織に対しての理解と関心が生まれた。

活動開始前の状況や課題

- 本地域は3つのため池があり、安定した環境の中で農作物等の栽培が可能となっている。
- 地域資源である、農用地や水路等にゴミのポイ捨てが散見されていた。
- また、農業者の高齢化や担い手不足により、農地の存続が難しい箇所もあるため、農地を今後も維持していくことが地域の課題である。



地域の状況

取組内容



- 組織で景観形成・生活環境保全計画を立て、農道や水路等の環境整備の一環として、ゴミ拾い（クリーン活動）を実施。
- 活動は農業者や老人会等が参加し、地域が一体となって取り組んでいる。



景観形成・生活環境保全計画策定の会議状況

取組の効果

- 参加者同士の交流も深まり、共同で地域のクリーン活動に取り組もうという意識が高まった。
- 生活や農業に必要な道路、水路等を流れる水は、生活用水、防火用水等地域用水等として、それぞれ管理されることにより地域の生活に密着し、環境保全に貢献した。
- 令和4年度に実施した取組には22人が参加し、クリーン活動を通して、地域住民の景観形成・生活環境保全への関心が高まった。



クリーン活動の様子



【地区概要】※R4年度時点

- ・認定農用地面積39.7ha
(田32.1ha、畑7.6ha)
- ・資源量 水路16km
農道15km
- ・主な構成員 農業者、自治会、
土地改良区 等
- ・交付金 約3.3百万円(R4)

農地維持
支払

資源向上
支払
(共同)

資源向上
支払
(長寿命化)

おぼらのうち・みずほぜんかんりかつどうそしき

みさきちょう

小原農地・水保全管理活動組織（岡山県美咲町）

- 本地域は、岡山県のほぼ中心部に位置する中山間地域である。
- 人口減少等により、農業者の高齢化・担い手不足が深刻化。そのため、非農家を含む活動組織の構成員と定期的に農地の保全管理を実施し、地域の環境を守っている。
- 地域内には6つのため池があり、当初はため池管理の作業負担が大きかった。しかし、活動組織の構成員でため池の管理を行うことにより作業負担が軽減した。
- 平成30年7月豪雨等豪雨発生時も農地災害は発生せず、活動を通じて防災に関する住民意識が向上した。

活動開始前の状況や課題

- 本地域は、水稻を中心とした中山間地域である。人口減少等により、農業者の高齢化や担い手不足が深刻となった。
- ため池の堤体には雑草が茂り、また付随する水路等には泥が堆積していた。そのため、豪雨等が発生した際、農地への被害が発生する可能性があった。



地区内のため池の一つである「小原池」

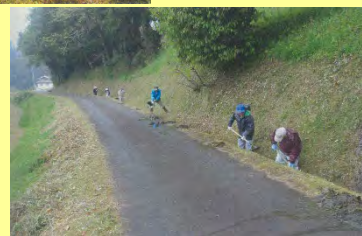
取組内容



- ため池周辺の定期的な草刈り・泥上げ
- ため池の点検・機能診断を実施し、必要に応じて補修を行っている。



ため池堤体の草刈り



水路の泥上げ

取組の効果

- 以前は地域内にため池の数が多く、少人数で活動していたため、一人当たりの作業負担が大きかった。しかし、非農家を含む約60人の構成員で作業することにより、負担の軽減が図られ、きめ細かな管理が可能となった。
- 「平成30年7月豪雨」では、時間雨量37mmを超える降雨を記録したが、普段の活動でため池等の管理を適切に行っていたことにより、農地等の災害は発生しなかった。
- 活動を通じて防災に関する住民意識が向上した。



構成員がそろい、ため池を管理する様子



農村文化の伝承を通じた農村コミュニティの強化

中間農業地域



キーワード

農村の地域コミュニティの維持・強化への貢献

おだしげんほぜんきょうぎかい

おだぐんやかげちょう

小田資源保全協議会（岡山県小田郡矢掛町）

- 小田資源保全協議会は、平成24年より本交付金による取組を実施しており、特徴としては、地域全体のコミュニティ活動の活性化を目的に、本交付金で取り組む活動範囲を小田地区のほぼ全域としている。その結果、地区全体での会合、行事等も増えて、地域に一体感が出てきている。
- 地域文化として従来年末に行っていた「しめ縄作り」を次世代に残し、農村文化の伝承を地域の子どもたちの「ふるさと愛」を育む事業として、小学校と連携実施し、地域の農村文化の伝承及び農村コミュニティの強化を行っている。

【地区概要】※R4年度時点

- ・認定農用地面積63.8ha
(田47.6ha、畑16.2ha)
- ・資源量 水路21km
農道18km
- ・主な構成員 自治会、子供会 外
- ・交付金 約4.6百万円(R4)

農地維持
支払

資源向上
支払
(共同)

資源向上
支払
(長寿命化)

活動開始前の状況や課題

- 農業者の高齢化が進み、担い手の確保が課題
- 地区ごとに、地域の農村文化の伝承を行っていたが、講師も高齢化し、伝承行事の継続が困難になった。



しめ縄作りの様子

取組内容



- しめ縄作りの農村文化を児童の「ふるさと愛」を育む事業として小学校と連携して実施することとなり、地域をあげて取り組んでいる。毎年11月末頃、小学校高学年を対象にわら細工やしめ縄作りの体験学習を行い、農村文化の伝承、ふるさと愛の育成に努めている。



しめ縄についての説明

取組の効果

- 小田資源保全協議会と地域の敬老会が協力して、地域と小学校の交流事業の一つとして、わら細工やしめ縄作りの体験学習を行い、児童の『ふるさとの「人・もの・こと」』について理解を深める機会となっている。令和4年度は高学年児童33名が参加した。
終了後、児童による和太鼓演奏のお返しがあり、良い交流事業となった。



体験学習の様子



うりゅうばらほぜんかい つやまし 瓜生原保全会（岡山県津山市）

- 本地域は、岡山県北部に位置する水田地帯であり、組織は農地維持活動、共同活動、長寿命化に取り組んでいる。
- 事務作業については、その煩雑さから多大な労力を要していた。
- また、一部の構成員に作業の負担が偏る状況になっていたため、今後の活動継続のためには、事務負担軽減などが大きな課題になっていた。
- 事務支援ソフト「STAFireReportIV（桜井(株)）」の導入により、事務負担が大幅に軽減し、課題解決に向けて前進した。

【地区概要】※R4年度時点

- ・認定農用地面積52ha
(田45ha、畑7ha)
- ・資源量 水路12km 農道6km
- ・主な構成員 農業者、自治会、水利組合、老人会
- ・交付金 約4百万円(R4)

農地維持
支払

資源向上
支払
(共同)

資源向上
支払
(長寿命化)

活動開始前の状況や課題

- 本組織は水田地帯で活動しており、農道の草刈りや鳥獣害防護柵設置、水路補修など積極的に行っている。
- 事務作業について、その煩雑さから多大な労力を要していた。
- また、報告書類の作成については高齢化や書類の複雑さから、
 - ・作成出来る人が限られる
 - ・引継ぎが難しい
 という問題が発生し、一部の構成員に負担が偏る状況になっていた。
- そのため、今後、長期間活動を継続するためには、この課題の解決が必須であった。

取組内容

- 事務支援ソフトの説明会やデモ版での体験を経て、ソフトを購入した。
- 多面関係の書類作成は概ねソフトを利用している。
- 日報に入力した内容が他資料にも転記されるので、作成・確認手間や間違いを少なくできる。



事務支援ソフトの説明会の様子

取組の効果

- 使用して4年程度経過した。
- 書類作成の時間が年間約120時間から約24時間に縮減。
- 組織内でのコミュニケーション機会や、地域の課題の把握、事業の進捗状況などの情報共有の機会が増えた。
- 入力違いも減ったので、市町村の確認手間も少なくなった。
- 毎年の様式変更、追加にも対応しており、入力漏れ等もなくなった。
- 過去の記録も整理されており、作業も省力化されたため、引継が容易に行える状態になった。



作業従事者の負担軽減の取組

都市的地域 平地農業地域
中間農業地域



キーワード

都道府県独自の取組

組織の広域化・体制強化

くらしきちいきしげんほぜんかい

くらしきし

倉敷地域資源保全会（岡山県倉敷市）

- 本地域は、一級河川である高梁川による豊富な水資源に恵まれた稲作主体の水田地帯である。近年では、住宅の造成等による混住化が進む一方、農業従事者の高齢化・減少傾向により、農家のみでの施設の保安全管理が困難となりつつある。
- 活動当初は、水路の泥上げ等の基礎的な活動のみを実施していたが、最近は地域住民と協力した植栽活動や外来種駆除など多様な活動を始めたことにより、地域コミュニティの再構築および地域活性化にも貢献している。
- 令和3年度から岡山県が始めた自走式草刈機の貸し出し事業を活用して、今後の草刈作業の負担軽減の検討に取り組んでいる。

【地区概要】※R4年度時点

- ・認定農用地面積770.5ha（田770.5ha）
- ・資源量 水路 2.51km 農道 0.01km
ため池 1箇所
- ・主な構成員 農業者、子ども会、自治会、自衛消防 等
- ・交付金 約51百万円（R4）

農地維持
支払

資源向上
支払
(共同)

資源向上
支払
(長寿命化)

活動開始前の状況や課題

- 近年は集落の高齢化や混住化が進み、地域内での非農家の割合が高くなっている。
- 農業者の中でも兼業農家の割合が高く、清掃活動を実施できる日も限られており、参加者が少ないこともある。
- 傾斜地での草刈作業は、多大なる労力を要し、転落の危険性もある。



草が生い茂る傾斜地

取組内容



- 貸し出しを受けた自走式の草刈機を使用し、農道や耕作放棄地・水路法面の草刈を試験的に行った。（機械はラジコン式、最大適用傾斜角40度）
- 使用した感想をアンケートで集約し、今後、どのような形で負担軽減に取り組むかを検討した。



耕作放棄地草刈

取組の効果

- 参加者が少ない中でも、短時間で、かつ安全に活動することができた。
- 【取組前】参加者：8名 所要時間：約7時間
【取組後】参加者：4名 所要時間：約4時間
参加者割合：農家4名、非農家0名
- ハンドル式草刈機の操作が困難な高齢の住民も簡単に操作することができるため、草刈機を持っていない非農家も作業に参加しやすく、今後継続的な施設の維持管理が見込まれる。



機械を使用した傾斜地での草刈作業



かみゆげかつどうそしき

くめなんちょう

上弓削活動組織 (岡山県久米南町)

- 久米南町のほぼ中央部に位置し、ほ場整備後の恵まれた環境の中で営農活動を行いながら、本交付金による取組を実施している。
- 本地域では、65歳以上が人口の4割を占めている地域ではあるが、担い手不足の解消と地域の活性化を図ることを目的として、平成24年に『上弓削ふれあいクラブ』を立ち上げ、休耕田にソバを植えるなどの体験を行い地域、子供会、大学生、NPO法人などと交流・連携を図る取組を行っている。
- これにより、小さな子どもを持つ女性などと地域コミュニティとで繋がりが深まっていくとともに地域の活性化にも繋がれると考えている。

【地区概要】※R4年度時点

- ・認定農用地面積39.9ha
(田39.6ha、畑0.3ha)
- ・資源量 水路17.2km
農道16.8km
- ・主な構成員 自治会、婦人会、老人クラブ、母親クラブ、NPO法人 等
- ・交付金 約300万円(R4)

農地維持
支払

資源向上
支払
(共同)

資源向上
支払
(長寿命化)

活動開始前の状況や課題

- 本地域は、高齢化が進むと共に、若者の町外への転出などにより、担い手不足となり、地域活動に支障が出ていることが課題となっていた。
- そんな中、人とのふれあい交流を通じて地域の活性化を図る場を作ることとして、『上弓削ふれあいクラブ』を立ち上げた。



休耕田を利用した景観形成活動
(ソバ植え)

取組内容



- 地域内の休耕地を利用し、植えたソバの収穫体験を農村環境保全活動として行っており、以前から地域活動等で大学生と交流を行っていたが、現在は県事業を通じて多くの大学生が参加するようになり、地域内外とも交流の場が広がった。
- 地域の子供会、母親クラブに加え、大学生、地域おこし協力隊も参加し、ソバ植えやトウモロコシの収穫体験を行い、交流を深めた。



子どもや女性が参加した取組
(景観形成活動)

取組の効果

- 毎年、活動への参加が増えており、現在では大学生など地域外からの参加も増え、農業や地域の活動に対して関心を得られるようになってきた。
〔収穫体験(交流会)
参加人数 42名(R4延べ人数)〕
- この取組を継続して行っていることで、大学生、子供会、婦人会、地域おこし協力隊など参加者も年々増えてきており、地域コミュニティとの維持・発展につながっている。
また、休耕田の解消にも繋がっている。



子供会や、老人クラブ等との交流会



地域防災(田んぼダム)の取組

中間農業地域



キーワード

地域防災(田んぼダム)の取組

【地区概要】※令和4年度時点

- ・認定農用地面積25.5ha
(田22.7ha、畑2.8ha)
- ・資源量 水路7.6km
農道2.7km
- ・主な構成員 農業者、非農業者
- ・交付金 約1.4百万円(R4)

農地維持
支払

資源向上
支払
(共同)

資源向上
支払
(長寿命化)

さいどみ かい あかいわし
齋富をまもる会(岡山県赤磐市)

- 岡山県の南部に位置する丘陵平野地域で、平成28年度より本交付金による活動を実施している。
- 平成30年の西日本豪雨時の河川氾濫や、令和元年度に流域治水プロジェクト(一級河川旭川水系)の策定(田んぼダムの取組を位置付け)を契機とし、本地域で実施中の県営基盤整備事業の完了地で、令和3年度より田んぼダムの取組を実施している。
- 本組織では、令和6年度までに22.7haで田んぼダムに取り組む予定となっている。

活動開始前の状況や課題

- 本地域は、水稻を中心とした丘陵平野地域である。
- 平成30年の西日本豪雨時には本地域より下流の地域で河川氾濫被害を受け、農地、市街地で大きな被害が発生した。



ほ場整備事業実施前の
齋富地区の状況

取組内容



- 地域防災の取組として水田の排水口に「調整堰板」を設置することで貯留機能高める、「田んぼダム」の取組を実施。



調整堰板の
設置状況



調整堰板

取組の効果

- 「田んぼダム」の取組を行うことで河川への急激な排水を抑制。
- 活動を通じて防災に関する住民意識が向上した。
- 本地域の活動により、市内の他の地域でも「田んぼダム」の取組を開始。

活動組織 2組織増加
取組面積 32.0ha増加



地域の防災活動について
話し合い



ななつかにしのうち まも かい しょうばらし

七塚西農地を守る会（広島県庄原市）

- 本地域では、農村基盤総合整備パイロット事業（平成5年完工）で整備された水田地帯で、水稻の栽培やその他に牧草、飼料稲、飼料用米などの資料作物が栽培されている。農家の高齢化や担い手不足から農地の荒廃が進むなどしたため、地域において農事組合法人「七塚西」を設立し、これを契機に平成19年から本交付金による取組を実施している。
- 本組織は、地域全戸が参加しており、地域をどのように守って行くのか各々が意見を出し合う中で、景観形成活動として他の周辺に桜の苗木100本を植栽している。また、伝統的な農作業などを継承するため、子どもたちに昔ながらの田植えや稲刈りなどの農業体験も実施している。
- これにより、農事組合法人には30歳代の若い担い手もあり、それらを含めて中心的担い手として、農業者だけでなく非農家も参画する地域ぐるみ活動として農村地域コミュニティの維持・強化が図られている

【地区概要】※R4年度時点

- ・認定農用地面積48.2ha（田48ha、畑0.2ha）
- ・資源量 水路16.3km
農道1.1km
ため池9箇所
- ・主な構成員 農事組合法人、自治会、子ども会等
- ・交付金 約2百万円(R4)

農地維持
支払

資源向上
支払
(共同)

資源向上
支払
(長寿命化)

活動開始前の状況や課題

- 農業者や水利組合を中心に維持管理していたが、農家の高齢化や担い手不足から農地の荒廃が進んでいた。
- また、山間部ということもあり、ため池周辺はイノシシやシカによる獣害が絶えない状況にあり、保全管理が困難な状況にあった。



活動開始前の荒廃農地

取組内容

- 全戸参加で意見を出し合い、景観形成活動として、農地周辺に桜の苗木100本の植栽を実施。
- 獣害防止強化のため、イノシシ柵の補修や農地周辺の藪等の伐採を実施。
- 伝統的な農作業を継承するため、子どもたち昔ながらの農業体験を実施。



意見交換会



農業体験

取組の効果

- 全体的には高齢化も進んでいるが、30歳代の担い手が地域農業の中心的な担い手となっている。
- 農業者だけでなく非農家も参画する地域ぐるみの活動が定着している。
- 農村地域の住民が考え有効な事業の検討・実行をしてコミュニティの維持・強化を図ろうという意識が高まった。



地域清掃活動



田植え体験



地域資源の適切な保全管理の推進

中間農業地域



キーワード

地域資源の
保全管理

かわにしゆめあい

やまがたぐんきたひろしまちょう

川西夢愛クラブ（広島県山県郡北広島町） ※ 令和5年度から千代田広域協定に合併

- 当地域及び周辺地域においても高齢化による人手不足等が進行し、集落の維持に懸念をきたしていた。そのような中、平成26年度から開始される本交付金をきっかけとして、4つの行政区等が連携し、1活動組織として集落維持のために本交付金を実施することとなった。
- 本組織の特徴としては、集落営農組織を基礎とした地域ぐるみでの保全管理体制を構築するために農地の積極的な借り入れを推進し、高齢化により草刈り等の維持管理が困難になりつつある農地は集落青年部などと協議し、草刈りの応援等を実施している。
- これにより、地域において集落の農業、農地を守るという意識が高まり、共同活動の参加率が8割を超えるなど地域ぐるみでの集落維持の構築が図られている。

【地区概要】※R4年度時点

- ・認定農用地面積49ha（田49ha）
- ・資源量 水路19.5km
農道 8.6km
- ・主な構成員 農事組合法人
女性会
- ・交付金 約4百万円（R4）

農地維持
支払

資源向上
支払
（共同）

資源向上
支払
（長寿命化）

活動開始前の状況や課題

- 農業者や水利組合を中心に施設の維持管理を実施していたが、高齢化による人手不足により農地保全が難しくなっていた。
- 基盤整備完了後、水路等の施設は20年以上が経過し、耐用年数も超過し、老朽化が進行している。



草刈りの様子

取組内容



- 高齢化等による農地維持が困難な農地は、農事組合法人による農地集積を極的に行き、草刈り等は集落の青年部などと協議し、草刈り応援を実施。
- 水路施設等は、共同活動に位置付け、施設の点検・機能診断を行い、水路の破損個所の補修や鳥獣害防護柵の補修、設置を行っている。
- また、4行政区でそれぞれの会館、農道、水路等のゴミ拾いなど本交付金で行う活動と一体的に実施している。



施設点検（水路）



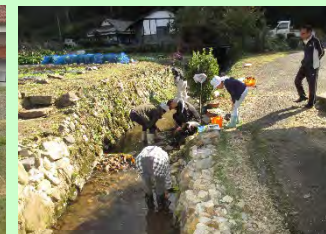
法面の草刈り

取組の効果

- 過疎地域で人手不足ではあるが、4行政区が一体となって活動を行うことで、地域みんなで農地を守ると意識が高まった。共同活動の参加率も8割をこえるなど、地域ぐるみでの集落維持の構築が図られた。
- このようなことから、これらの活動が地域に浸透し、恒例行事となっており、同時にコミュニケーションを図る場ともなっている。



法面の草刈り



水路清掃



農業用施設の機能増進の推進

中間農業地域



キーワード

農業用施設の機能増進

おようかんきょうほぜんかい しょうばらし
小用環境保全会（広島県庄原市）

- 本地域は、県営ほ場整備事業「小用地区」（昭和58年完工）で整備された水田地帯で、水稻を中心に転作田では飼料作物やソバなどを栽培している。高齢化や担い手不足などにより、地域において農事組合法人「ファームおよう」を設立し、これを契機に平成21年度から本交付金の前身である農地・水・環境保全向上対策による取組を実施している。
- ほ場整備完了後、耐用年数超過などで水路等の施設の老朽化などが顕著であり、用水の安定供給のほか、異常気象時の災害対応に苦慮してきた。活動組織として、水路等の施設点検や見回りなどをとおして、管理が不十分な箇所は、改めて組織内で周知し徹底を図り、農事組合法人を中心に日頃から管理指導を行っている。
- この活動により、水路等の機能の向上や災害の未然防止など地域内での意識の醸成・向上が図られた。

【地区概要】※R4年度時点

- ・認定農用地面積62.4ha
（田62.0ha、畑0.4ha）
- ・資源量 水路41.9km
農道41.6km
ため池9箇所
- ・主な構成員 農事組合法人
自治会等
- ・交付金 約3百万円（R4）

農地維持
支払

資源向上
支払
（共同）

資源向上
支払
（長寿命化）

活動開始前の状況や課題

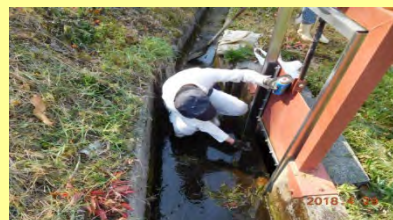
- 本地域は高齢化や非農業者の増加により、農地法面の草刈りや水路の泥上げ等、地域資源の保全管理活動への参加者が減少している。
- このようなことから、農作業の意欲の低下や農業用水の安定確保、異常気象時の対応など苦慮してきた。



草刈り

取組内容

- 農地法面の草刈り等、日常の維持活動は農業者自らが行うことを基本としていますが、高齢化等により日常の管理ができない場合は、集落全体で協力して実施。
- 水路等の点検（機能診断等）を実施し、施設の点検結果を基に、水路の泥上げや農道、ため池の施設の適正管理など、農業者を中心に地域の共同活動として取り組んでいる。



水路（樋門）機能診断

取組の効果

- 農用地の管理や農業用施設の補修等の維持管理活動には農事組合法人を中心に自治会（非農業者含む）や水利調整委員会が参加していることで、地域における地域ぐるみでの保全活動として位置づけられた。
- このようなことから、水路等の施設機能の向上や災害の未然防止など地域内での意識の醸成・向上が図られた。



水路清掃